

あいめーる

AUTUMN

令和6年11月15日発行 〒861-0551
 発行 熊本県山鹿市津留2022
 社会福祉法人 愛隣園 TEL 0968-43-2771
 障害者支援施設 愛隣館 FAX 0968-43-2793
 発行責任者 三浦貴子 <http://aileans.com>
 編集 広報チーム E-mail
 キャリービジョン ailinkan@magma.jp

愛隣館通信



競技に取り組みなくても雰囲気を感じて楽しむ方や、途中で帰ることを希望する方もおられました。お一人おひとりが無理することなく良い刺激の中で参加できていたことも醍醐味に思います。会場では皆さんの意気込みや想いをお聴きし、さまざまな楽しみ方を見て、心身の健康増進や地域との繋がりを感じられる有意義なイベントだと感じました。



メジシンボール: 回ってきたボールを向かい側の利用者に渡します。

十月五日(土)、山鹿市カルチャースポーツセンターにて、山鹿市ふれあいピック第十七回大会が開催されました。今年度は愛隣館より四十七名の利用者が参加。年に一回のイベントで、この日のために日々のリハビリを頑張り、参加や交流を楽しみにしている方も多く、朝から愛隣館を出発する時皆さんのエネルギーを感じながら一緒に参加しました。

ふれあいピックでは、山鹿市内の障害者団体や、小・中学校、障害者施設を利用する障がい児・者の方々が参加しています。プログラムは、くまモン、ころもくんの準備体操に始まり、全六種類の競技が行われました。利用者の皆さんが「スライカー」や「ペタンク」などチーム一丸となって楽しむ姿や、ご家族の声援の中で懸命に励む姿はとても印象的でした。

山鹿市ふれあいピック
 第十七回大会
 地域生活支援拠点コーディネーター
 北谷 知明

「アール・ブリュット展
十周年を迎えて」



館長 三浦 貴子

来たる十二月十一日から二十二日まで、障害のある人々からの生の芸術・アール・ブリュット展V.O.10を開催致します。主催する芸術活動支援市民団体アール・ブリュット パートナース熊本(A.B.P.K.)の事務局を愛隣館が担っています。

展示のはじまりは、2014年 山鹿八千代座での一日美術館から。熊本地震の年、会場確保で悩む私たちに、熊本県立美術館の田崎館長(当時)が声をかけ下さり、2017年V.O.3から熊本城内の県美術館で連続開催でき、十年(延べ110日間)で、約二万人の方々にご来観頂きました。現在、県内の登録作家百二十名、法人会員三十二団体、個人会員百二十名が会の基盤となっています。

登録作家一名(松本寛庸氏)から始まったA.B.P.K.の活動には、想像を超える数の地域の人々とのつながりが生まれていると感じます。作家お一人おひとりのこれまでの人生で出会った人々、支えてきた人々が展示された作品の前に集い、作品を介して新たな出会いもまた生まれています。

昨年からはD.P.日本と韓国をつなぐを発端として、ソウルの作家たちの作品も熊本展に迎え、またソウルで熊本の作家作品の展示をしています。

愛隣館では、山品聡美さん、野尻三三さんが注目される作家です。山鹿の中満優生さん、中山楓良さん、北原岳さんらも続々と評価を得ておられます。活動を続けてこれたのは、県内からの温かい応援・ご支援と、厚労省・熊本県の事業が受託できていることです。関係頂く全ての皆様に心から感謝申し上げます。

最後に、業務の傍らでA.B.P.K.の実働を担う納富さん、堀田さん、久武さん、松本さん、三角さんを始めとする愛隣館スタッフの皆さん、本当にありがとうございます。たぐいまれな編集集中のV.O.10記念図録に載せきれない想いと喜びです。これからもどうぞよろしく願います。

心肺蘇生法 A E D 操作法講習会

看護師 平山 智恵

愛隣館では、(株)サニクリーン九州から講師をお招きし、A E D講習会を定期的に行っています。人が倒れ、心室細動を起こしている場合、電気ショックを与えるA E Dが「唯一の治療法」になります。救急車が到着するまでの平均時間は十分。心停止から一分経過することに救命率は10%低下します。また、三〜四分経過すると麻痺が残ったりします。もしもの時に利用者の一番身近にいる私たちスタッフが即座に・的確に行動し救える命を救うためにも、日ごろから訓練し学習していかねばならないと思います。

講習を受ける前に実際に急変がありました。その方の生命力も大きいと思いますが、そこにいるスタッフ全員がその方を助けようと必死でした。徐々に回復されていることを知り、改めて命を救う大切さ、命のありがたさを感じました。



飾り馬

心配された台風の影響も無くなった九月一日(日)、若藤會の皆さんが来訪。飾り馬が愛隣の家広場にて披露されました。

理事長の挨拶からはじまり、若藤會会長の挨拶や団体の紹介がありました。

早速、広場に祭りの音色が響き渡



り、皆さんその音色に合わせて、元気に駆け回る飾り馬を目で追いながら、時折、歓声も上がっていました。

今回は、飾り馬が利用者の前まで来て記念撮影する事になり、「お馬さん大きい」「近くで観ると可愛い」等の声が聞かれ、思い出に残る楽しいひと時となりました。

若藤會の皆さん遠い所をありがとうございました。

月見の宴

ケア課 米崎 みどり

九月十七日(火)、今日は中秋の名月です。

十八時二十分の日入り前。十八時に、来賓の方々をお招きして月見の宴がスタートしました。

新しく入居された藤村由香子さんの乾杯の音頭の後、テーブルの上のお団子や焼きとり等をみんなで食べながら、作品の発表になりました。

今年は、コロナの影響もありましたが短歌、俳句合計七八首と沢山のご応募



を頂きました。

作品の発表が終わり、昨年に続き、八千代座子供歌舞伎の皆様による歌舞伎等のアトラクションで盛り上がり、いよいよ入賞作品の発表です。

どの作品も、良いな〜上手だな〜と思える作品ばかりで選者の先生方も悩まれたのでは?と思いましたが。楽しかった月見の宴もあっと言う間に終わり、夜空には月が輝いていました。来年もみんなで中秋の名月を眺め、月見の宴が開催出来る事を願います。

山鹿市合唱祭

ケア課サブチーフ 渡辺 仁美

第四十四回山鹿市合唱祭が去る九月二十二日(日)、山鹿市民交流センターにて開催されました。

今年は、入居者、愛隣倶楽部利用者合わせて十四名、職員九名が参加。「Believe」「野に咲く花のように」「にんげんがいいな」の三曲を、山鹿コールエイトと山鹿音楽サークルの皆さんと歌って来ました。



会場に到着した時は緊張した顔でしたが、待ち時間には他のチームの方や地域の方と触れ合われ、歌う頃にはほどよく緊張もほぐれ、元気で、朗らかなステージでした。会場からは大きな拍手を戴きとても嬉しかったです。

コロナで参加できない年もありましたが、皆さんの笑顔を見て、今回参加出来て本当に良かったと感じました。

新しい仲間

入居者 藤村 由香子



八月二十日に入居しました藤村由香子です。私の趣味はアイロンビーズです。動物やディズニーキャラクターを沢山作っています。

ディズニーとジャッキーチェンが大好きです。ジャッキーチェンの映画を観る事が楽しみです。毎週水曜日の音楽クラブに参加して歌う事も楽しみにしていました。愛隣館でもっとたくさんのお楽しみをみつきたいと思えます。皆さん、よろしく願います。

(代筆: 徳丸春美)

『あいめーる』の企画・編集は利用者で構成された広報チーム、キャリアビジョンが担っています。

社会福祉法人 愛隣園
第二十八回ふれあい祭り

デイケア 鹿田 良美

四月に入職し、はや八ヶ月が経とうとしています。行事ごとが開催されるにあたり、何事も初参加でワクワク、ドキドキの気分であります。

今回の祭りに参加し、各ステーションでの出し物等仕事の合い間での練習時間を確保するのも大変だったと思います。私はかき氷のブースでした。日々部署が違うと職員同士のコミュニケーションをとるのが難しいですが、行事を通して交流出来る事が良い事だと痛感しました。楽しく過ごす事が出来ました。

何年も続いているふれあい祭り、開催できなかった時期もあったと思います。実行委員の皆様、本当にお疲れ様でした。これからも、地域に関わられた施



九月二十八日(土)
愛隣の家広場にて
上：愛隣館出し物
新人職員八名による
「マツケンサンバ」
下：灯笼踊り保存会による
山鹿灯笼踊り

設として、このふれあい祭りが続く事を願い協力していきたいと思えます。

ふれあいジョギング

理学療法士 松永 彩

十月十三日(日)、えがお健康スタジアムにて開催された、第四十回ふれあいジョギング大会へ参加してきました。愛隣館からは五名の利用者の方が七五〇mの部に出場されました。

昨年はコロナウイルス感染症予防により大会出場が来ず、久しぶりの大会出場に出場者の方々は何日も前から楽しみにされていました。当日は晴天に恵まれ、秋の涼しい風を受けながらボランティアの学生と共にゴールを目指されていました。



県内外からの多くの参加者がいる中、遠くは台湾からの参加もあり、愛隣館の方々も刺激を受けられている様子でした。最後の抽選会まで参加し、また来年を楽しみにして大会を終えました。

日常から離れ、利用者と共にスポーツに親しむ

い機会となりました。

利用者の日常風景の「コマ

井上優城さん
水戸黄門も好きですが、プロ野球の巨人軍が大好きです。



永田末子さん
良い方の手で止められる、職員手作りのブレーキバーです。



お知らせ

◆全国障害者スポーツ大会SAGA2024へデ
イ利用者の下川龍次さんが出場されました。見事
銀メダル獲得！おめでとうございます。

◆やまがアート(10月26日～11月3日)、三岳祭
り(11月2日～4日)へ参加しました。

◆故障していた入居棟一般浴のリフトを新品へ入
れ替えました。



令和六年度俳句・短歌入選作品

短歌「月の部」

一席 カーテンの すきまに見える

満月を 見ながらねむり 夢の世界に

大坂 恭子

二席 満月が 世界中の 金メダル

平和を願い 心一つに

米崎 みどり

三席 年重ね 月の明かりの やさしさを

感じて涙 流れるほおに

瀬口 直子

短歌「雑詠の部」

一席 定位置に 座ってみれば 見えてくる

みんなの笑顔 今日も会えたね

仁田原 真有

二席 夕暮れに 帰ってきそうな 亡き母の

まどの外には 風音ばかり

浏览 年孝

俳句「月の部」

一席 満月に 財布フリフリ 願いごと

坂田 照美

二席 初恋の 思い出映す 青い月

猪股 敦

三席 窓辺から 夫婦で見てる お月さま

緒方 義朗

俳句「雑詠の部」

一席 秋風に 孔明しのぶ 五丈原

猪股 敦

二席 あじさいや 朝露もらい にっこりと

池田 良子

三席 また来るね 笑顔でかわす お盆かな

吉本 やす代

三浦牧子名誉理事長賞

これからも 平和な国で 暮らしたい

田中 鉄也

また来るね 笑顔でかわす お盆かな

吉本 やす代

甲子園 意地と意地とが ぶつかりあい

下川 龍次

あー嫌だ コロナで終わる 俺の夏

福原 隆博

夕暮れに 帰ってきそうな 亡き母の
まどの外には 風音ばかり

浏览 年孝



理事長賞

上弦の 月を愛でつつ 傍らの

古典紐解き 想いを馳せる

富田 正美

太陽が 二つにありそな 盛夏かな

福島 好美

亡き母に 供えた好物 父が食べ

許しを得たと 無邪気に喋る

坂田 照美

百日花 母の面影 淡い色

ふわりふわりの 風に舞い

吉本 やす代

館長賞

手をあてて 胸にたずねる 分かれ道

小川 ハツ子

副施設長賞

古里の 棚田を囲む 曼珠沙華

福島 好美

夕立の 雨にも負けず 大輪の

打ち上げ花火 山鹿の空に

米崎 みどり



愛隣荘賞

ねころべば 母の思い出 ふるさとの
思いはつきねど いまだかえれず

瀨上 年孝

おぼろ月 いつかいつしよに あるきたい

中村 京子

太陽が 二つにありそな 盛夏かな

福島 好美

満月が 世界中の 金メダル

平和を願い 心一つに

米崎 みどり

亡き母に 供えた好物 父が食べ

許しを得たと 無邪気に喋る

坂田 照美

城北高等学校 竹原理事長賞

おぼろ月 いつかいつしよに あるきたい

中村 京子

年重ね 月の明かりの やさしさを

感じて涙 流れるほおに

瀬口 直子



アールブリュット パートナーズ熊本 西島会長賞

黄金に 月見草咲き 夕闇に

吉本 やす代

満月が 世界中の 金メダル

平和を願い 心一つに

米崎 みどり

太陽が 二つにありそな 盛夏かな

福島 好美

夕立の 雨にも負けず 大輪の

打ち上げ花火 山鹿の空に

米崎 みどり

熊本日日新聞社 編集局 デジタル編集部 岩下部長賞

太陽が 二つにありそな 盛夏かな

福島 好美

第三者委員 栗川賞

うさぎの子 月のまんなか まちぼうけ

山下 四季子

秋風に 孔明しのぶ 五丈原

猪股 敦

第三者委員 山西賞

ありのまま 生きればいと 赤とんぼ

福島 好美

亡き母に 供えた好物 父が食べ

許しを得たと 無邪気に喋る

坂田 照美

オフィス幸知 平野賞

初恋の 思い出映す 青い月

猪股 敦

胸元に 不意の風あり 今朝の秋

岩下 力

三菱総合研究所 高森賞

満月が 世界中の 金メダル

平和を願い 心一つに

米崎 みどり

山白み 雷鳴ひびき 香り立つ

大地の匂い 暮れの隙間に

渡辺 仁美

山鹿燈心会 会長賞

目をとじて 胸に手をあて 母思ふ

小川 ハツ子

涼風を 目隠しシェードが

邪魔をする 外せぬ悲しき 住宅事情

岩下 力

